

SASTAINABLE GROWTH

組織の存立をどう確保していくか。

拝見した組織は産業分類・ポジショニングとしては京都市的を感じさせた。だが、どんな組織にも共通する同じような種々の課題に日々立ち向かっていた。リーダーたる人々の活躍と先見力、人への接し方に深い考えを持っていることが目立った。京都の重みは感じたがそれだけではない経営結果に成果を出す相当の卓越性を感じた。

同時に、訪問した組織のリーダークラスの方々は人として面白みを感じさせた。

大下光雄

I

数百年を業界トップレベルで生き抜いてきた組織

- ①福田金属箔粉工業(株)
 - 相談役の社内・社外レクチャー【常に新用途、素材の更なる開発・向上を目指す】
 - 競争相手のいない製箔でトップを目指す？ 生産工程も自社開発が主
 - 結果業績良し。
- ②大西清右衛門美術館
 - 現16代は作り手(職人・アートディレクター)であり美術館長。法人組織は止むを得ない選択。
 - 制作完了まで長期間。経営としては簡単ではない筈。
 - 技術は白紙から学んだことは多かった。
 - 若手だが技量・組織管理とも良くやっている。

Ⅱ 三代を輝かしく生き抜いてきた組織

- ③近藤高弘工房
- 近藤悠三(祖父)、近藤潤(父)の跡継ぎ。
- 現代風、シャープさ、幽玄さを感じさせる作品。
- 本人は学生時代は卓球の全日本チャンピオンクラス。だが、制作に入ってから化学材料も導入した技法で強烈な新鮮さ、清冽さを出す作品群で定評を獲得している。
- 三代目を感じさせない安定性と独創力を備えている。

Ⅲ

新しい組織で考え抜く組織

- ④(株)堀場製作所
 - 昭和20年創業ながら大企業に。世界15ヶ国に展開。
 - 従業員の層には単なるオペレータークラスは少ないのか、殆どの人が考えなくてはできない仕事か。
 - 社是の『おもしろおかしく』はそうでなくては仕事が進まない組織かも。
 - 社長の柔軟で他と違った方向を求める考え方は事業展開にも如実に現れ、大成功している。従業員を信頼し大切にしている。この手法ができる経営者は多くはない。
 - 例えば、分析機器だけでなくその業務全体をルームごと制作し運営する。このこと全ての営業は画期的。
 - 外国人従業員への接し方は千年の都・京都らしさを旨く打ち出していて日本人としても痛快。
 - 高収益会社であるのもなるほどと頷ける。

IV

伝統芸をベンチャー手法で展開する組織

- ⑤西村圭功漆工房
- 京の古い町家を借り上げて工房・プレゼンの場に最近したところ。
- 技法は古来オーソドックスな漆工房。
- 若いご夫妻でのきりもみ。従来、プレゼンには縁が無かったがこれを行うことでご自分達にも励みになり、一般の方々にも認識してもらうことができやりがいが増えた。
- 一般の人は認識不足だったので、改めて価値を再認識して購買度も上がるのでは。
- 若いお二人に頑張っののエールを贈りたくなる。